

香川高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	社会Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	1117		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電子システム工学科 (2019年度以降入学者)		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	『高等学校 新現代社会 改訂版』 (清水書院)						
担当教員	田村 昌己						
到達目標							
1. 現代世界が直面する様々な問題について主体的に考え、判断するための基本的な視座を身につける 2. メディア・リテラシーを養い、時事的な問題について自分の意見を発表し、議論することができる							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	現代社会に生きる一員として、諸問題について主体的に考えることができる		現代社会が抱える諸問題について基本的な理解ができている		現代社会の諸問題についての基本的な理解が足りない。		
評価項目2	メディアの情報を読み解き、自分の意見に基づいて議論を行うことができる。		メディアの情報を正確に読み解き、議論に参加することができる		メディアの情報に対して受動的で議論にも参加できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	教科書および担当教員の作成する資料をもとにして、講義形式で進める。 テーマを設定し、討論も交えながら、現代社会の諸問題に対する視角を深めていく。 なお、定期試験のほかに適宜レポートなどの課題も課していく。						
授業の進め方・方法	教科書および担当教員の作成する資料をもとにして、講義形式で進める。 テーマを設定し、学生による発表・討論も交えながら、現代社会の諸問題に対する視角を深めていく。						
注意点	オフィス・アワー (火曜 16:00～17:00)						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	現代世界の諸相		現代世界に生きる私たちが向き合うべき諸課題について概観する。A1:1,2,3		
		2週	環境問題		現代世界が直面する環境問題について考える。A1:2		
		3週	資源・エネルギー問題		3・11以後の日本社会にとっての課題でもあるエネルギー問題について考える。A1:1, A2:1,2		
		4週	生命倫理		技術の発展が生命に及ぼす影響について考える。A2:1,2, A3:3		
		5週	高度情報社会		情報技術が社会に及ぼす影響について考える。A1:3, A2:1,2		
		6週	事例研究 (1)		具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。A1:1,2 A3:1,2		
		7週	事例研究 (2)		具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。A1:1,2 A3:1,2		
		8週	前期中間試験		ここまでの内容の理解度を確認する。		
	2ndQ	9週	青年期の課題		青年期に直面する倫理的課題について考える。A1:3		
		10週	哲学的問い		哲学という人間の営みを知る。A1:3		
		11週	宗教と人間		宗教と人間との関係について考える。A1:3		
		12週	政治とはなにか		政治という人間活動の特質を知る。A1:3, A3:3		
		13週	デモクラシーとは		民主的な制度のあり方について学ぶ。A1:3, A3:3		
		14週	事例研究 (3)		具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。A1:1,2 A3:1,2		
		15週	事例研究 (4)		具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。A1:1,2 A3:1,2		
		16週	前期末試験		ここまでの内容の理解度を確認する。		
後期	3rdQ	1週	主権者として、市民として		政治参加の重要性について理解する。A1:3, A3:3		
		2週	立憲主義		日本国憲法の立憲主義的な仕組みについて理解する。A1:3, A3:3		
		3週	法とは何か		人間社会において法が果たす役割について考える。A1:3, A3:3		
		4週	人権思想		権利という概念について理解を深める。A1:3, A3:3		
		5週	安全保障		日本の安全保障環境について考える。A1:3, A3:3		
		6週	事例研究 (5)		具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。A1:1,2 A3:1,2		
		7週	事例研究 (6)		具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。A1:1,2 A3:1,2		
		8週	後期中間試験		ここまでの内容の理解度を確認する。		
	4thQ	9週	経済とは		経済という人間の営みについて考える。A1:3, A3:3		

		10週	市場経済のしくみ	市場経済の働きについて学ぶ。A1:3, A3:3
		11週	受給曲線	受給曲線の読み解き方を知る。A1:3, A3:3
		12週	消費者問題	かしこい消費者になるための知識を得る。A1:3, A3:3
		13週	金融のしくみ	金融という分野の重要性を理解する。A1:3, A3:3
		14週	事例研究（7）	具体的事例を通して、メディアを読み解く力を養う。 A1:1,2 A3:1,2
		15週	後期末試験	ここまでの内容の理解度を確認する。
		16週	総括	一年間の総括を行う。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	地理歴史的分野	世界の資源、産業の分布や動向の概要を説明できる。	3	前1,前2,前3
			民族、宗教、生活文化の多様性を理解し、異なる文化・社会が共存することの重要性について考察できる。	3	前11
			近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	後5
			帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	後5,後6
			第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	後5,後6
			19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	後5,後6
		公民的分野	人間の生涯における青年期の意義と自己形成の課題を理解し、これまでの哲学者や先人の考え方を手掛かりにして、自己の生き方および他者と共に生きていくことの重要性について考察できる。	3	前9
			自己が主体的に参画していく社会について、基本的人権や民主主義などの基本原理を理解し、基礎的な政治・法・経済のしくみを説明できる。	3	後1,後2,後3,後4
		現代社会の考察	現代社会の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について人文・社会科学の観点から展望できる。	3	前14,前15,後6,後7
	工学基礎	技術者倫理(知的財産、法令順守、持続可能性を含む)および技術史	説明責任、製造物責任、リスクマネジメントなど、技術者の行動に関する基本的な責任事項を説明できる。	3	前3
			現代社会の具体的な諸問題を題材に、自ら専門とする工学分野に関連させ、技術者倫理観に基づいて、取るべきふさわしい行動を説明できる。	3	前3
			技術者倫理が必要とされる社会的背景や重要性を認識している。	3	前3,前5
			社会における技術者の役割と責任を説明できる。	3	前3,前5
			情報技術の進展が社会に及ぼす影響、個人情報保護法、著作権などの法律について説明できる。	3	後3
			高度情報通信ネットワーク社会の中核にある情報通信技術と倫理との関わりを説明できる。	3	前5
			環境問題の現状についての基本的な事項について把握し、科学技術が地球環境や社会に及ぼす影響を説明できる。	3	前2
			環境問題を考慮して、技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	前2
			国際社会における技術者としてふさわしい行動とは何かを説明できる。	3	前1
			過疎化、少子化など地方が抱える問題について認識し、地域社会に貢献するために科学技術が果たせる役割について説明できる。	3	前1
			知的財産の社会的意義や重要性の観点から、知的財産に関する基本的な事項を説明できる。	3	前5
			知的財産の獲得などで必要な新規アイデアを生み出す技法などについて説明できる。	3	前5
			技術者の社会的責任、社会規範や法令を守ること、企業内の法令順守(コンプライアンス)の重要性について説明できる。	3	後3
			技術者を目指す者として、諸外国の文化・慣習などを尊重し、それぞれの国や地域に適用される関係法令を守ることの重要性を把握している。	3	後3
			全ての人が将来にわたって安心して暮らせる持続可能な開発を実現するために、自らの専門分野から配慮すべきことが何かを説明できる。	3	前1,前13
			技術者を目指す者として、平和の構築、異文化理解の推進、自然資源の維持、災害の防止などの課題に力を合わせて取り組んでいくことの重要性を認識している。	3	前1,前13
			科学技術が社会に与えてきた影響をもとに、技術者の役割や責任を説明できる。	3	前3,前4
			科学者や技術者が、様々な困難を克服しながら技術の発展に寄与した姿を通じ、技術者の使命・重要性について説明できる。	3	前3,前4
		グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	前13
			様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	3	前11,前13
			異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	3	前11,前13

				それぞれの国や地域の経済的・社会的な発展に対して科学技術が果たすべき役割や技術者の責任ある行動について説明できる。	3	前13,後1
分野横断的能力	態度・志向性(人間力)	態度・志向性	態度・志向性	周囲の状況と自身の立場に照らし、必要な行動をとることができる。	3	前10
				自らの考えで責任を持ってものごとに取り組むことができる。	3	前10
				目標の実現に向けて計画ができる。	3	前9
				目標の実現に向けて自らを律して行動できる。	3	前9
				日常生活における時間管理、健康管理、金銭管理などができる。	3	後12
				社会の一員として、自らの行動、発言、役割を認識して行動できる。	3	後1
				チームで協調・共同することの意義・効果を認識している。	3	前9
				チームで協調・共同するために自身の感情をコントロールし、他者の意見を尊重するためのコミュニケーションをとることができる。	3	前9
				当事者意識をもってチームでの作業・研究を進めることができる。	3	前9
				チームのメンバーとしての役割を把握した行動ができる。	3	前9
				リーダーがとるべき行動や役割をあげることができる。	3	前9
				適切な方向性に沿った協調行動を促すことができる。	3	前9
				リーダーシップを発揮する(させる)ためには情報収集やチーム内での相談が必要であることを知っている	3	前9
				法令やルールを遵守した行動をとれる。	3	前9
				他者のおかれている状況に配慮した行動がとれる。	3	前9
				技術が社会や自然に及ぼす影響や効果を認識し、技術者が社会に負っている責任を挙げることができる。	3	前9
				自身の将来のありたい姿(キャリアデザイン)を明確化できる。	3	前9
				その時々で自らの現状を認識し、将来のありたい姿に向かっていくために現状で必要な学習や活動を考えることができる。	3	前9
				キャリアの実現に向かって卒業後も継続的に学習する必要性を認識している。	3	前9
				これからのキャリアの中で、様々な困難があることを認識し、困難に直面したときの対処のありかた(一人で悩まない、優先すべきことを多面的に判断できるなど)を認識している。	3	前9
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業や大学等でのように活用・応用されるかを説明できる。	3	前6,前7
				企業等における技術者・研究者等の実務を認識している。	3	後9
				企業人としての責任ある仕事を進めるための基本的な行動を上げることができる。	3	後9
				企業における福利厚生面や社員の価値観など多様な要素から自己の進路としての企業を判断することの重要性を認識している。	3	後9
				企業には社会的責任があることを認識している。	3	後9
				企業が国内外で他社(他者)とどのような関係性の中で活動しているか説明できる。	3	後9
				調査、インターンシップ、共同教育等を通して地域社会・産業界の抱える課題を説明できる。	3	後9
				企業活動には品質、コスト、効率、納期などの視点が重要であることを認識している。	3	後9
				社会人も継続的に成長していくことが求められていることを認識している。	3	後9
				技術者として、幅広い人間性と問題解決力、社会貢献などが必要とされることを認識している。	3	後9
				技術者が知恵や感性、チャレンジ精神などを駆使して実践な活動を行った事例を挙げることができる。	3	後9
				高専で学んだ専門分野・一般科目の知識が、企業等でのように活用・応用されているかを認識できる。	3	後9
				企業人として活躍するために自身に必要な能力を考えることができる。	3	後9
				コミュニケーション能力や主体性等の「社会人として備えるべき能力」の必要性を認識している。	3	後14

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	0	10	0	100
基礎的能力	90	0	0	0	10	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0